

科目名	フレッシュャーズセミナー			ナンバリング	ACF111	授業形態	演習
対象学年	1 年	開講時期	前期	科目分類	必修	単位数	2 単位
代表教員	北山 淳	担当教員	佐々木充直				

授業の概要	本学の初年次教育の一環として開講される新入生全員を対象とした必修科目である。大学生としての学修のために必要な基礎的かつ汎用的な能力を育成することを目標とする。特に履修の仕方や学修の概念を学び、高校から大学へのスムーズな転換教育を行う。また、様々なスタディ・スキルズ(ノートの取り方、講義の聴き方など)を学び、さらにアクティブ・ラーニングを通して、「聞く・話す・調べる」技法を学修する。あわせて社会で通用する良き習慣を身につける。		
到達目標	1 高校と大学の違いを理解し、自律的な学習習慣・マナー・自己管理を身に付けることができる。 2 大学で学ぶための基本低位な学習技術(情報収集の仕方・レポートの書き方など)を身に付けることができる。 3 グループワーク等を通して、大学内に豊かな人間関係を形成することができる。		
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	時間外でのグループワークや幅広い情報収集が求められるため、主体的な態度で臨むことが望ましい。 学習過程で残したレポートや資料を保存し振り返りを行うこと。		
ディプロマポリシーとの 関連	【健康医療科学部作業療法学科のディプロマポリシー】		
	○	1 広い視野と豊かな教養に基づき、健康の維持・増進およびリハビリテーション専門職の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。	
		2 地域に住む孤立しがちな人びとや、心身および生活上の障害を抱えた人びとの個別な健康・医療課題を的確に把握し、子どもから高齢者に至るまでその人らしく生活できるように、その生活支援や就労支援を行うことで、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。	
		3 健康・医療に関わる課題を解決するために、作業療法の専門的な過程を用いて根拠に基づいた科学的思考が展開でき、優れた作業療法技術を駆使して生活能力の再獲得への支援ができる。	
	○	4 健康・医療に関わる作業療法の専門家として科学と健康・医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的且つ能動的な学修ができる。	

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①遅刻、退席はほとんどなく、居眠りや私語はほとんど見られない。発言や質問はそれほど多くない。 ②グループワークでは、グループ内での発言や傾聴の姿勢は見られ、成果に向けて取り組んでいる。与えられた自分の役割を果たしてい取り組 んでいる。与えられた自分の役割を果たしている。 ③プレゼンテーションでは、話し方やアイコンタクトを意識しているが、主張にやや論理性が 不足している。	①遅刻、退席はなく、居眠りや私語をしていない。積極的に発言や質問をしている。 ②グループワークでは、よりよい成果に向け、新たな視点を提示する、他のメンバーへ働きかけを行うなど、与えられた以上の役割を果たしている。 ③プレゼンテーションでは、聴き手を意識た話し方、アイコンタクトがされている。内容が整理されており、根拠のある主張ができている。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加		●	●	●	●		40%
グループ発表	●	●	●	●	●		60%

課題、評価のフィードバック	manabaによるフィードバックを行う。
---------------	----------------------

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	オリエンテーション1	授業概要、進め方、到達目標、受講の心得を学ぶ	
	第2回	オリエンテーション2	シラバスの見方・考え方、学修への活用方法を学ぶ	
	第3回	大学生活のルール1	学生手帳を利用し、大学生活のルールとマナーについて学ぶ	
	第4回	大学生活のルール2	作業療法士に求められる守秘義務について学ぶ	
	第5回	勉強の仕方、試験の受け方	メモ・ノートの取り方、レポートの書き方、レポート作成の書式、キーワードの使い方、レポート内の文献記載方法について学ぶ	
	第6回	話の聞き方	インタビュー技法について学ぶ	
	第7回	調査に必要な情報を収集するスキル1	文献の収集方法について学ぶ	
	第8回	調査に必要な情報を収集するスキル2	図書館の利用について学ぶ	
	第9回	グループワークに関連したスキル1	グループワークの取り組み方、課題の意図を正しく捉え課題に沿ったテーマを設定する必要性について学ぶ	
	第10回	グループワークに関連したスキル2	グループワークの取り組み方、課題の意図を正しく捉え課題に沿ったテーマを設定する必要性について学ぶ	
	第11回	グループワークに関連したスキル3	収集した情報を信頼性、関連性、正確性、真正性などの点から批判的に分析・評価する必要性について学ぶ	
	第12回	グループワークに関連したスキル4	収集した情報を信頼性、関連性、正確性、真正性などの点から批判的に分析・評価する必要性について学ぶ	
	第13回	プレゼンテーションスキル1	プレゼンテーションの構成や資料の作り方(PPT、ポスター)、話し方、効果的な質疑応答について学ぶ	
	第14回	プレゼンテーションスキル2	プレゼンテーションの構成や資料の作り方(PPT、ポスター)、話し方、効果的な質疑応答について学ぶ	
	第15回	プレゼンテーションスキル3	プレゼンテーションの聞き方、質問の仕方について学ぶ	
	第16回	プレゼンテーションスキル4	プレゼンテーションの聞き方、質問の仕方について学ぶ	
	第17回	作業療法士について探求する1	作業療法における作業について学ぶ	
	第18回	作業療法士について探求する2	作業療法における作業について学ぶ	
	第19回	作業療法士を探求する 自分の目標とする作業療法士像について考える1	「自分の目標とする作業療法士像」を考え、グループメンバーと共有する	
	第20回	作業療法士を探求する 自分の目標とする作業療法士像について考える2	「自分の目標とする作業療法士像」を考え、グループメンバーと共有する	
	第21回	作業療法士について探求する グループワーク発表1	第19・20回でまとめたグループの考えを全体で共有する	
	第22回	作業療法士について探求する グループワーク発表2	第19・20回でまとめたグループの考えを全体で共有する	
	第23回	作業療法士国家試験について知る1	作業療法士国家試験に関して、基本的情報・知識を論理的に分析してまとめ、調査すべき課題を明確化する	
	第24回	作業療法士国家試験について知る2	作業療法士国家試験に関して、基本的情報・知識を論理的に分析してまとめ、調査すべき課題を明確化する	
	第25回	作業療法士国家試験について知る2	課題についてグループで調べ、プレゼンテーション資料にまとめる	

	第26回	作業療法士国家試験について知る3	課題についてグループで調べ、プレゼンテーション資料にまとめる	
	第27回	学習習慣を身に付ける1	「大学を卒業し、作業療法士国家試験に合格し、地域で活躍する“自分が理想とする作業療法士”になるためにはどのような習慣を身につける必要があるのか」これまで学んだスキルを活かしてまとめる	
	第28回	学習習慣を身に付ける2	「大学を卒業し、作業療法士国家試験に合格し、地域で活躍する“自分が理想とする作業療法士”になるためにはどのような習慣を身につける必要があるのか」これまで学んだスキルを活かしてまとめる	
	第29回	学習習慣を身に付ける3	第27・38回でまとめた資料をもとに、プレゼンテーションを行う	
	第30回	学習習慣を身に付ける4	第27・28回でまとめた資料をもとに、プレゼンテーションを行う	
	試験	なし		
授業の進め方		第1～4回までは主に講義と質疑応答とする。第5回以降はテーマにそってグループで話し合い、成果物としてまとめ発表する。		
授業外学習の指示		講義内容は毎回復習することが望ましい。日頃より社会の様々な出来事に関心に向け、グループワークのテーマについては事前に調べ、自らの考えをまとめておくこと。 （授業外学習時間： 毎週 90 分）		

教科書	・教科書はない ・適時プリントや資料を提示する
参考書	講義内で紹介することがある
参考URLなど	特になし
その他	特になし